

目次-1

1. ヒト反応性代謝物予測

(AstraZeneca、住友化学)

2. ヒト肝組織病理所見

(AstraZeneca、田辺三菱製薬)

3. ヒト胆汁排泄予測 (東京大、積水メディカル)

4. *In vitro*ヒトミトコンドリア毒性予測 (千葉大)

5. トランスポーターを介したヒト薬物相互作用

(東レ)

6. *In vitro*ヒト毒性予測

(武田薬品工業、東洋合成工業)

7. ヒト血液生化学検査評価

(金沢大、東京大・特殊免疫研究所)

目次-2

8. 農薬のヒト毒性予測 (住友化学)
9. トキシコゲノミクスを用いたヒト肝毒性予測
(積水メディカル、東和薬品)
10. 核酸医薬のヒト肝毒性予測
(国立衛研、国立循環器病センター)
11. 遺伝子治療のヒト肝毒性予測 (自治医大)
12. 抗体医薬品の安全性評価 (協和キリン)
13. ヒト遺伝子毒性評価 (安全性評価センター)
14. ヒト薬物誘発性リン脂質症評価 (広島大)
15. ヒト肝毒性バイオマーカー探索
(AstraZeneca、住友化学)